

1) 部位別・男女別のがん登録件数(2011～2016年診断症例)

— 院内がん登録(2011～2016年診断症例)部位別・男女別のがん登録件数から見る、当院の傾向 —

男性は①大腸 ②胃 ③前立腺 ④肺 ⑤膀胱の順で登録件数が多く、女性は①乳房 ②大腸 ③子宮 ④胃 ⑤内分泌・甲状腺の順で登録件数が多く見られました。

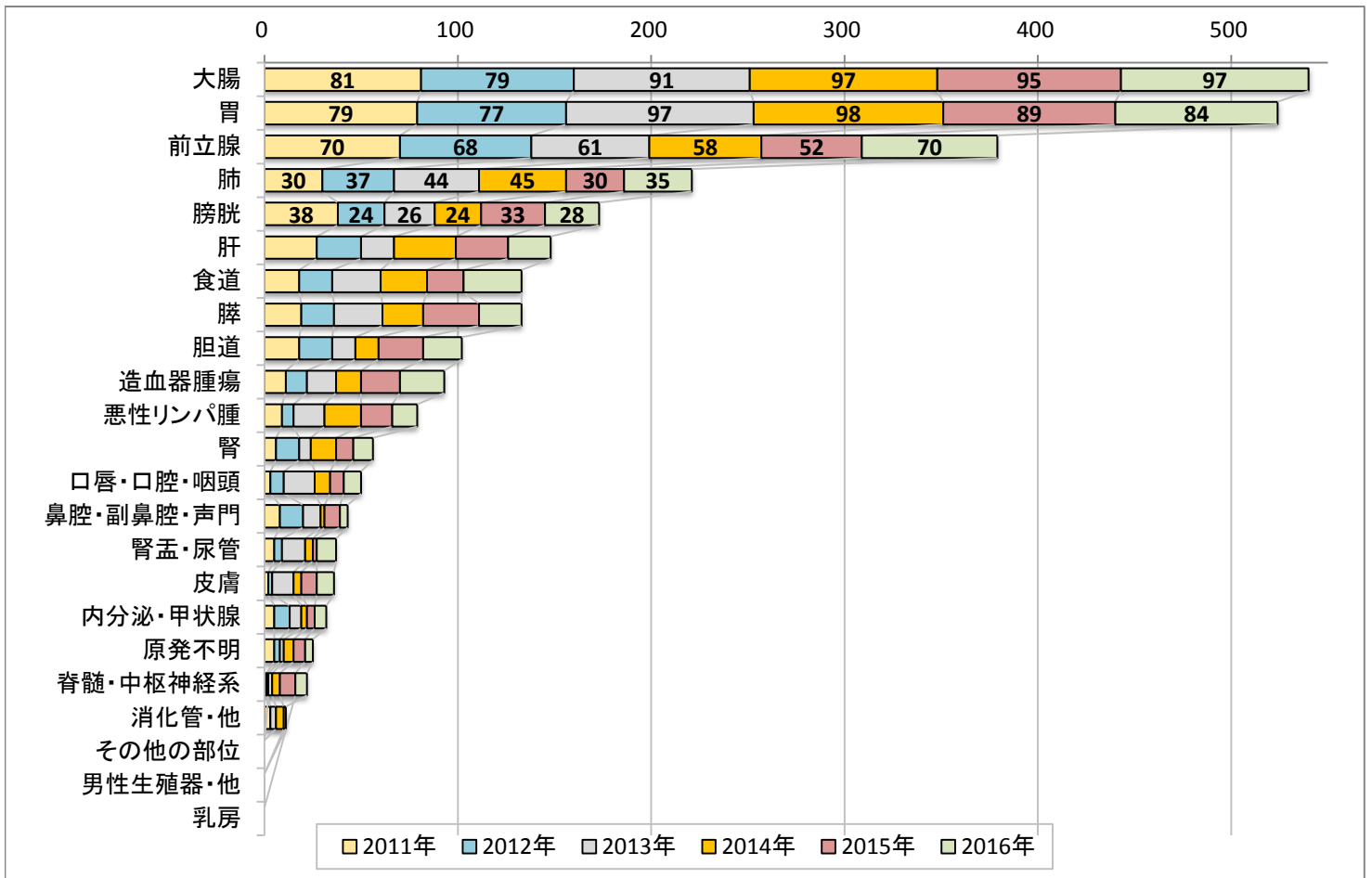
2018年3月現在

腫瘍部位 診断年	男 性							女 性						
	2011年	2012年	2013年	2014年	2015年	2016年	合 計	2011年	2012年	2013年	2014年	2015年	2016年	合 計
胃	79	77	97	98	89	84	524	34	36	41	39	33	39	222
大腸	81	79	91	97	95	97	540	46	55	60	46	61	64	332
肝	27	23	17	32	27	22	148	-	11	-	12	12	-	63
肺	30	37	44	45	30	35	221	12	15	19	18	26	17	107
乳房	-	0	0	-	0	0	-	59	95	112	76	95	130	567
口唇・口腔・咽頭	-	-	16	-	-	-	50	0	-	-	-	-	-	17
鼻腔・副鼻腔・声門	-	12	-	-	-	-	43	-	0	-	-	0	0	-
食道	18	17	25	24	19	30	133	-	-	-	-	-	-	21
消化管・他	-	0	-	-	0	-	11	0	-	-	-	0	0	-
胆道	18	17	12	12	23	20	102	15	12	16	11	-	14	77
膵	19	17	25	21	29	22	133	17	-	21	22	23	16	107
腎	-	12	-	13	-	-	56	-	-	-	-	-	-	27
腎盂・尿管	-	-	12	-	-	-	37	-	-	-	-	-	-	21
膀胱	38	24	26	24	33	28	173	-	-	-	11	12	13	56
前立腺	70	68	61	58	52	70	379							
男性生殖器・他	-	-	-	0	-	0	-							
子宮								39	46	38	44	39	28	234
卵巣								-	-	-	-	-	12	47
女性生殖器・他								-	0	-	-	-	-	12
皮膚	-	-	11	-	-	-	36	-	-	-	-	-	-	21
内分泌・他	-	-	-	-	-	-	32	26	15	31	27	28	27	154
脊髄・中枢神経系	-	-	-	-	-	-	22	-	-	-	-	-	-	23
造血器腫瘍	11	11	15	13	20	23	93	-	-	16	-	11	12	63
悪性リンパ腫	-	-	16	19	16	13	79	-	12	15	16	21	-	81
その他の部位	-	0	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0	-
原発不明	-	-	-	-	-	-	25	-	-	-	-	-	-	15
登録件数合計	443	426	497	492	488	506	2,852	306	354	417	371	412	426	2,286

※集計値が0を除く10以下の場合、値を(-)ハイフンで表示しています

【 男性:2011~2016年の登録件数(2,852件) 】

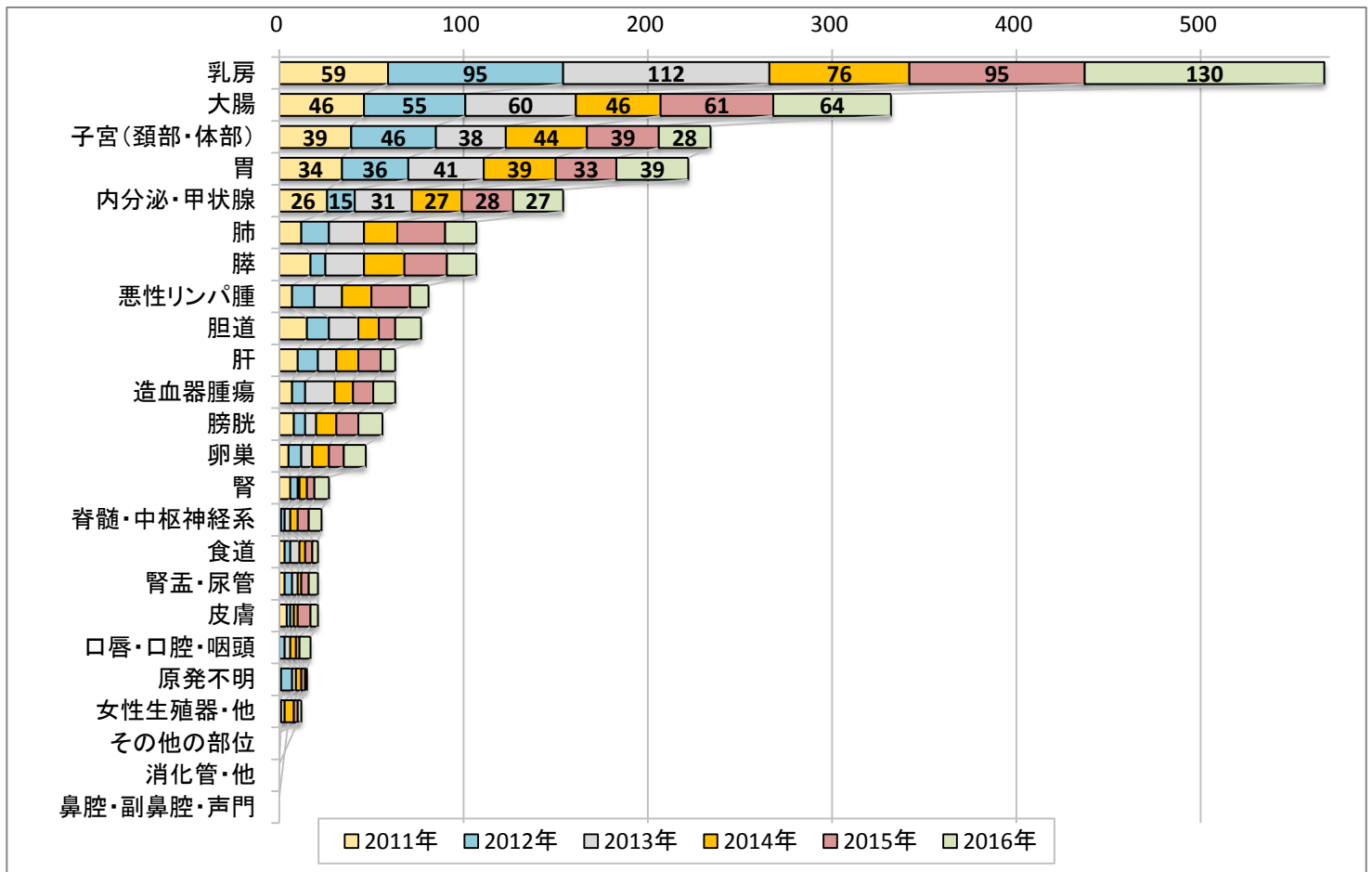
2018年3月現在



※集計値上位5位までの数値を表示しています。その他の集計値は「部位別・男女別のがん登録件数表」を参照ください

【 女性:2011~2016年の登録件数(2,852件) 】

2018年3月現在

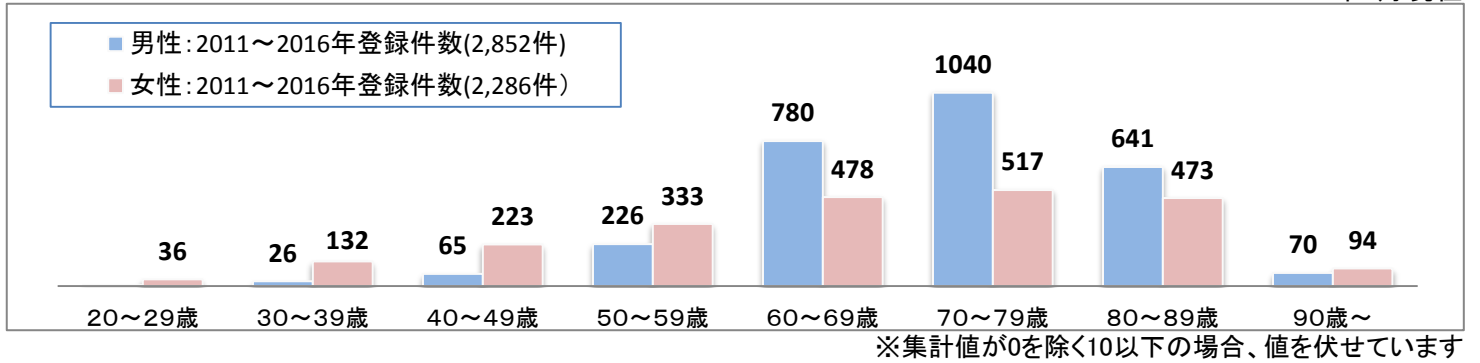


※集計値上位5位までの数値を表示しています。その他の集計値は「部位別・男女別のがん登録件数表」を参照ください

2) 年齢階級別・男女別のがん登録件数(2011～2016年診断症例)

— 院内がん登録(2011～2016年診断症例)年齢階層別・男女別のがん登録件数から見る、当院の傾向 —
 男性、女性ともに①70～79歳 ②60～69歳 ③80～89歳の年齢階級で登録件数が多くみられました。
 また、40～49歳の女性も増加傾向にありました。

2018年3月現在



年齢階級 診断年	男 性								女 性							
	20-29歳	30-39歳	40-49歳	50-59歳	60-69歳	70-79歳	80-89歳	90歳-	20-29歳	30-39歳	40-49歳	50-59歳	60-69歳	70-79歳	80-89歳	90歳-
2011年	0	-	-	28	126	181	89	11	-	17	30	49	60	69	64	-
2012年	-	-	13	37	124	160	77	-	-	24	37	42	72	94	67	13
2013年	-	-	11	51	124	173	118	14	-	27	41	68	105	70	84	16
2014年	-	-	11	37	141	179	112	-	-	24	21	50	71	96	82	18
2015年	-	-	17	27	135	155	135	13	-	14	38	59	92	96	82	25
2016年	-	-	-	46	130	192	110	17	-	26	56	65	78	92	94	12
合 計	-	26	65	226	780	1,040	641	70	36	132	223	333	478	517	473	94

※集計値が0を除く10以下の場合、値を(-)ハイフンで表示しています

3) 来院・発見の経緯(2011～2016年診断症例)

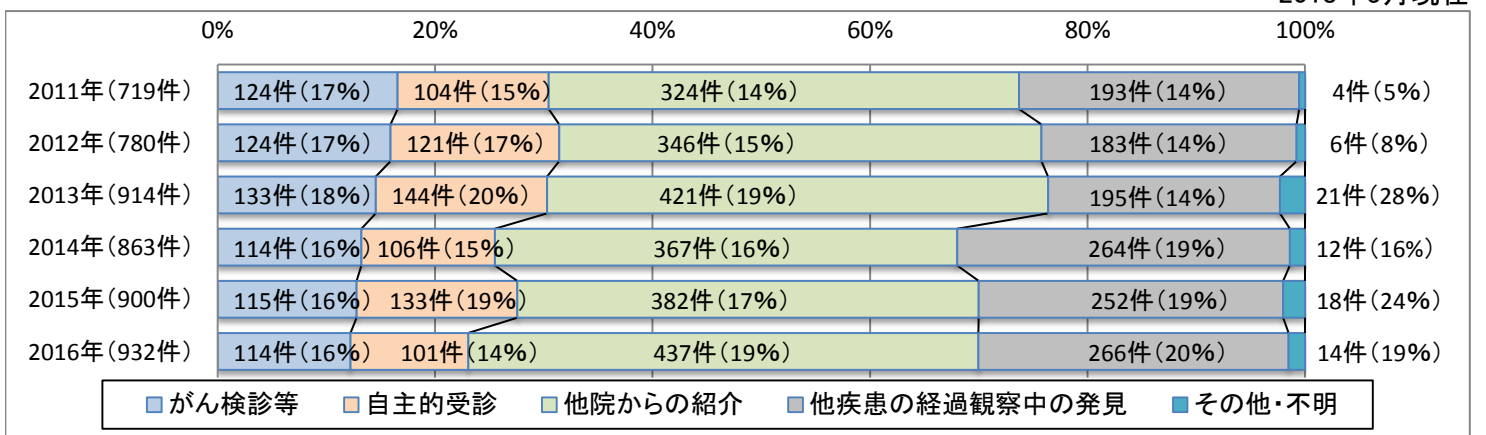
※来院・発見の経緯とは、「がんと診断」されるに至った受診のきっかけや、経緯をまとめたものです。

— 院内がん登録(2011～2016年診断症例)来院・発見の経緯から見る、当院の傾向 —

2011～2016年診断症例の中で「他施設からの紹介」によって受診し、がんと診断された症例が最も多く次いで「他疾患の経過観察中」にがんと診断された症例が多く見られました。

また「がん検診・健診・ドック受診」がきっかけによる、胃がん・大腸がん・肺がんのがん発見率は男女とも平均17%以下でした。子宮頸がんは30歳代のがん検診等による発見率が高い傾向にあり、平均44.7%でした。乳がんは50歳代が高く、平均23.7%の発見率でした。前立腺癌の平均は30.5%でした。

2018年3月現在



初回治療の定義 当院、他院を問わず「がんと診断」された場合、原発性のがんに対する初めに立てられた治療計画が施行されたものを初回治療といいます。従って、転移や再発の症例は含まれません。また他院で治療したのち、引続き当院で初回治療の範囲として施行した場合等も含まれ、当院と他院の双方の初回治療情報として登録されます。なお初回治療計画が立てられたあと、病状の進行などにより追加された治療は含まれません。

治療なしの定義 当院、他院を問わず「がんと診断」された患者さんが、初回治療を当院では施行しない場合や、診断されたが治療前に来院しなくなった場合を指します。

- 2015年診断症例までの「治療なし」の解釈：(診断のみ・治療前の来院中断・経過観察のみ・他院での初回治療終了後に紹介された場合)となります。
- 2016年診断症例のからの「治療なし」の解釈：(診断のみ・治療前の来院中断・他院での初回治療終了後に紹介された場合)となり、「経過観察」は2016年診断症例から新しい項目となりました。

6) 5大がんのがん治療内容(2011～2016年診断症例)

※5大がんは、胃がん・大腸がん・肝がん・肺がん・乳がんを示しています。

— 院内がん登録(2011～2016年診断症例)5大がんのがん治療内容から見る、当院の傾向 —

胃がん・大腸がんは、外科的手術や内視鏡による治療方法が多く見られました。肝がんは肝動脈(化学)塞栓療法、肺がんにおいては、薬物療法(化学療法)が比較的多く見られ、乳がんは、手術+薬物療法(化学療法/ホルモン療法)が多く見られました。

全体的に「治療なし」も多く見られますが、上記に示した「治療なしの定義」の解釈によるものです。

2011～2015年診断症例のがん治療項目

- | | |
|-----------|--|
| ① 手術のみ | ⑦ 薬物+その他の治療 |
| ② 内視鏡治療のみ | ⑧ 手術/内視鏡+放射線 |
| ③ 手術+内視鏡 | ⑨ 手術/内視鏡+薬物 |
| ④ 放射線治療のみ | ⑩ 手術/内視鏡+その他の治療 |
| ⑤ 薬物療法のみ | ⑪ 他の組合せ |
| ⑥ 放射線+薬物 | ⑫ 治療なし(診断のみ・治療前の来院中断・経過観察のみ・他院での初回治療終了後に紹介された場合) |

2016年診断症例のがん治療項目

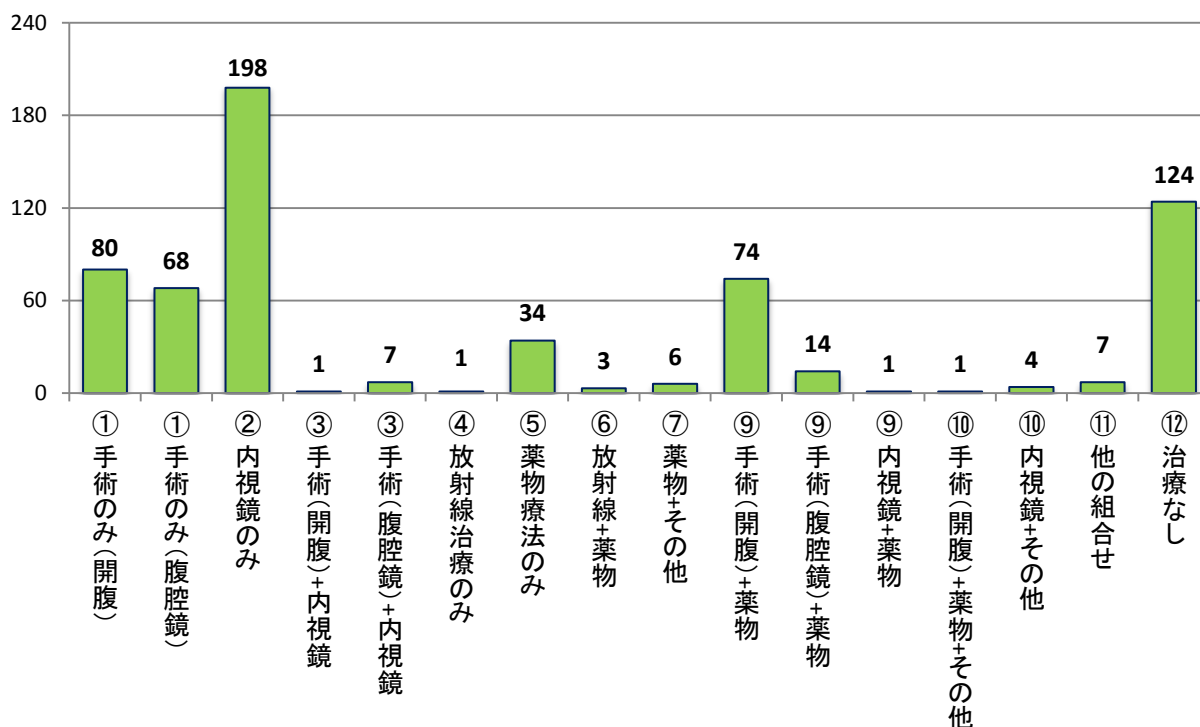
★解釈の変更に伴い追加となったがん治療項目(⑪～⑯)

- | | |
|-----------------|---|
| ① 手術のみ | ⑪ 手術+その他の治療(RFA・TA(C)E) |
| ② 内視鏡治療のみ | ⑫ その他の治療(RFA・TA(C)E) |
| ③ 手術+内視鏡 | ⑬ 経過観察のみ |
| ④ 放射線治療のみ | ⑭ 症状緩和的治療のみ |
| ⑤ 薬物療法のみ | ⑮ 経過観察+症状緩和的治療 |
| ⑥ 放射線+薬物 | ⑯ 治療なし(診断のみ・治療前の来院中断・他院での初回治療終了後に紹介された場合) |
| ⑦ 薬物+その他の治療 | |
| ⑧ 手術/内視鏡+放射線 | |
| ⑨ 手術/内視鏡+薬物 | |
| ⑩ 手術/内視鏡+他の組合わせ | |

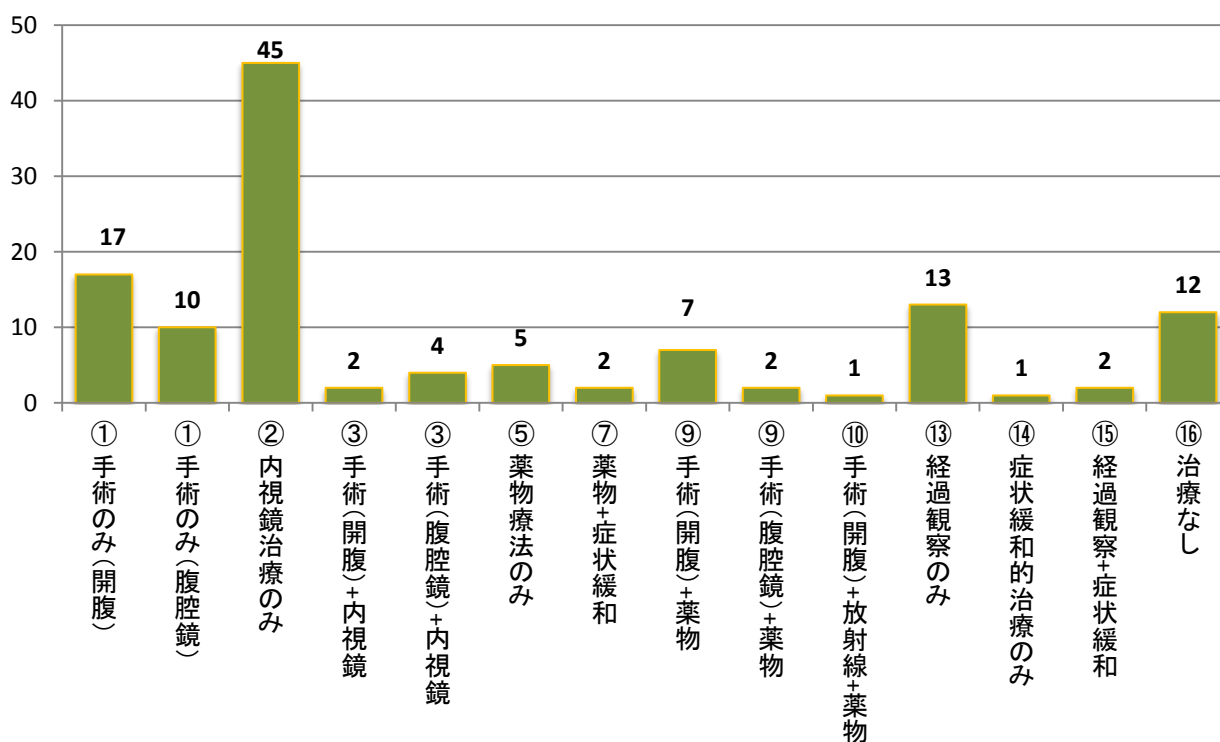
★ 2016年診断症例から、がん治療内容の項目に変更があるため、2011～2015年診断症例と分けて表示しています。

2018年3月現在

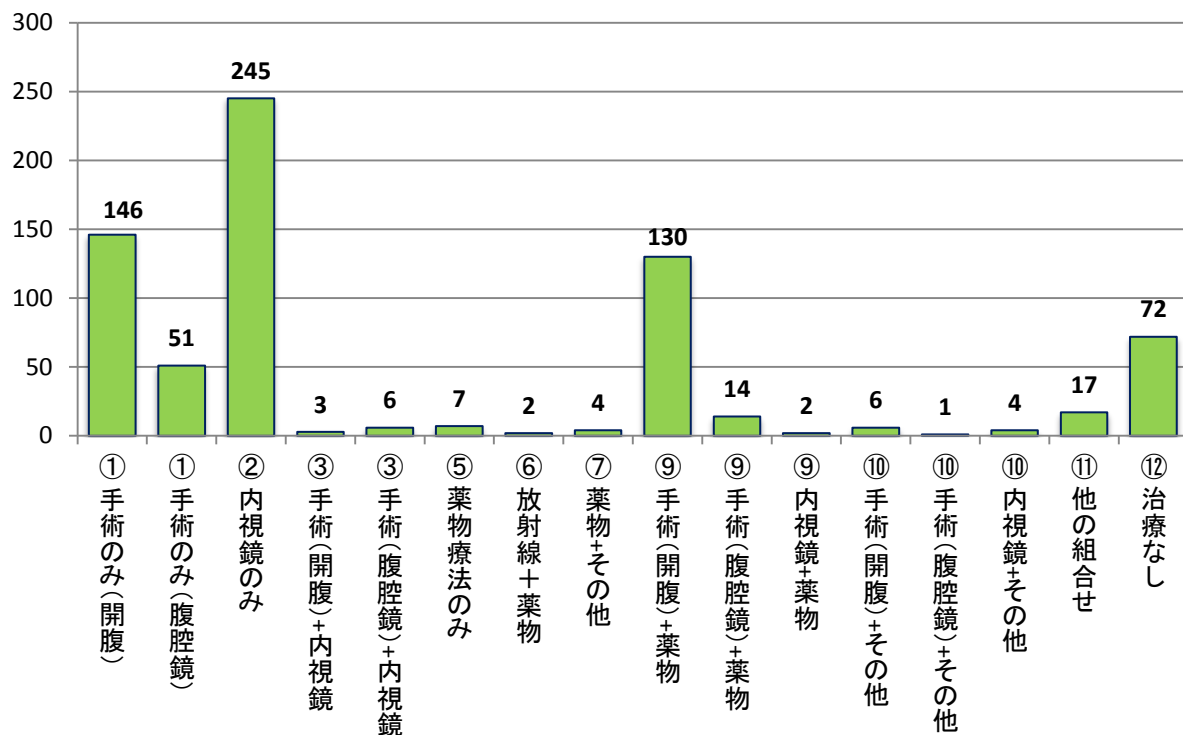
胃がん治療内容(2011～2015年診断症例)



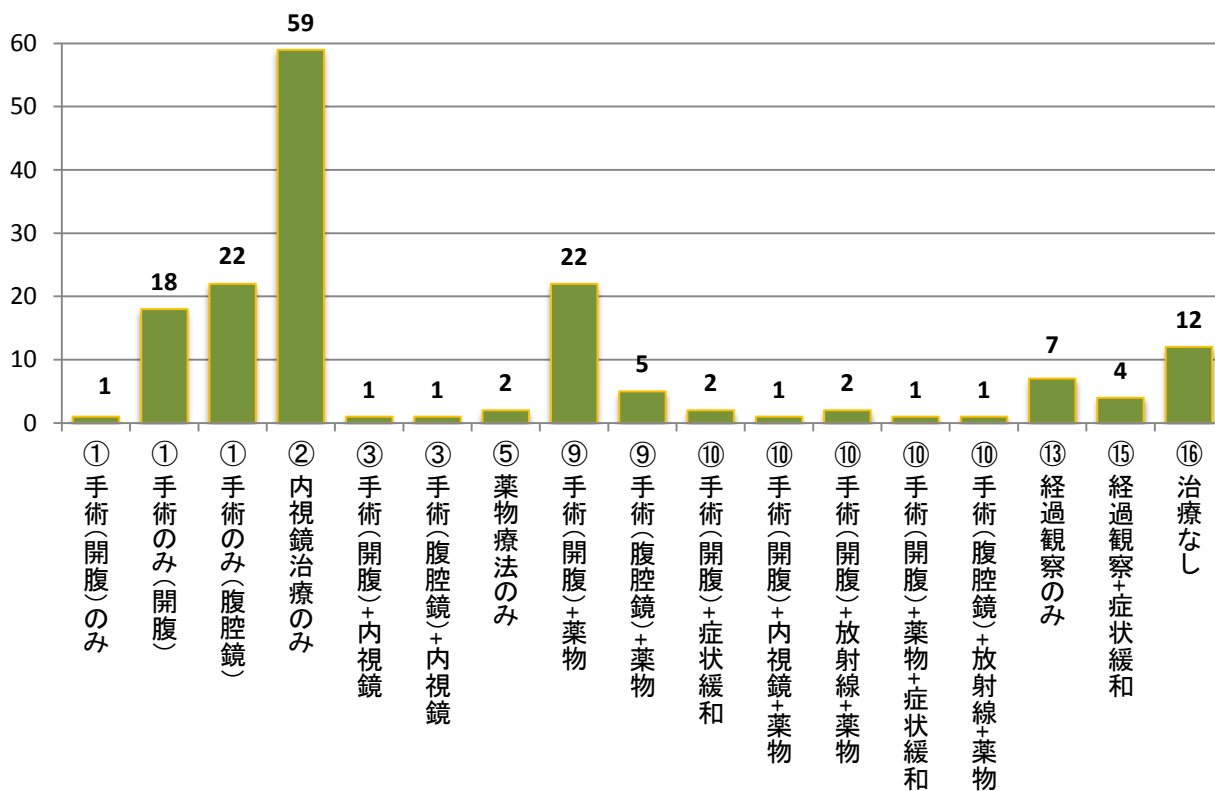
胃がん治療内容(2016年診断症例)



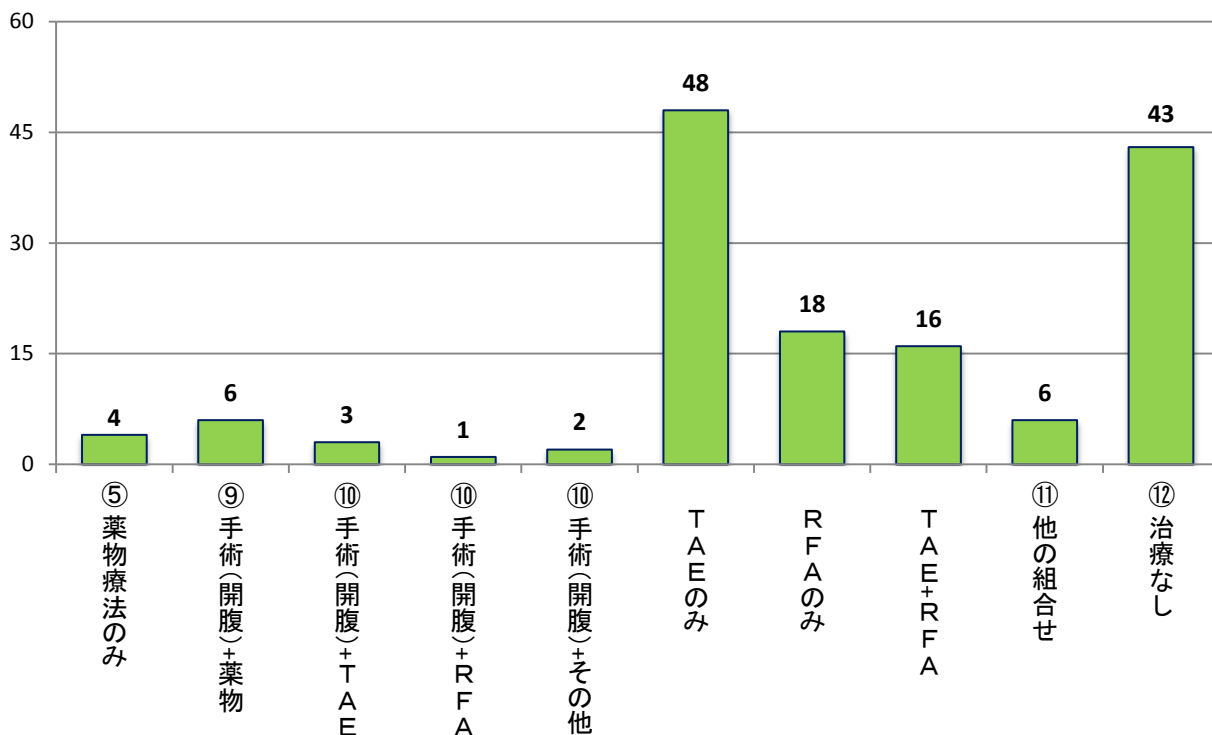
大腸がん治療内容(2011~2015年診断症例)



大腸がん治療内容(2016年診断症例)

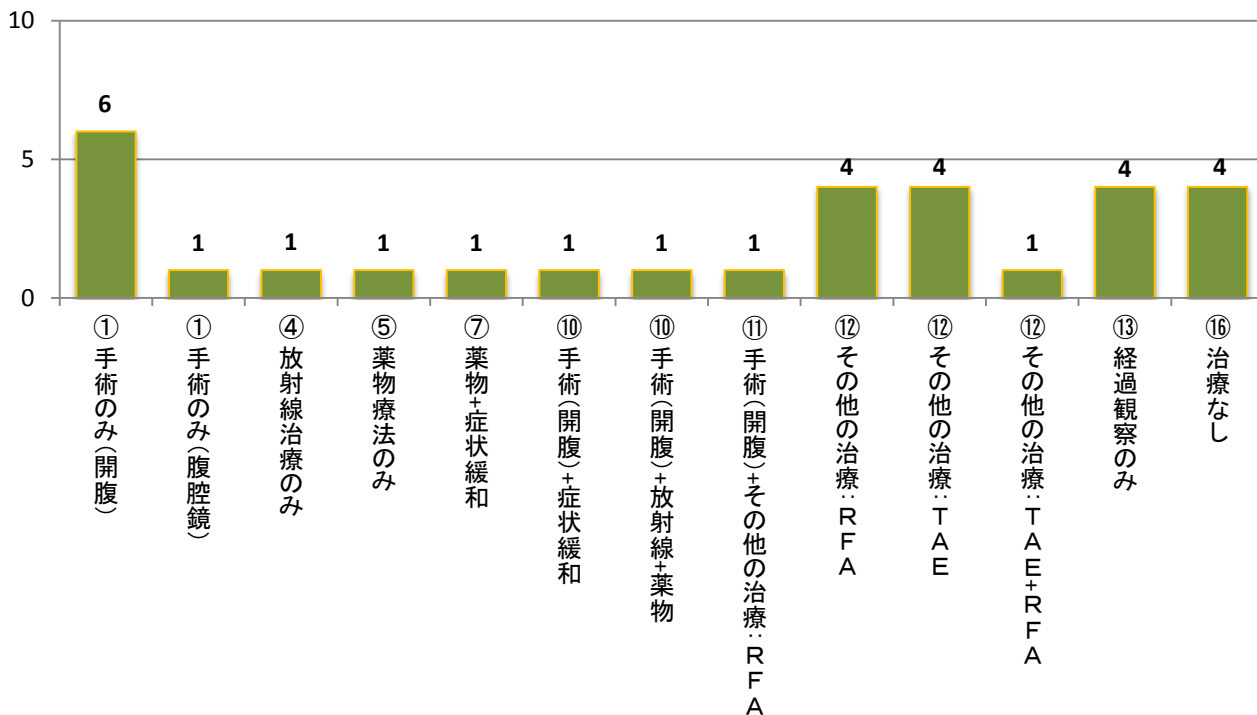


肝がん治療内容(2011~2015年診断症例)



※ TA(C)E・・・肝動脈(化学)塞栓療法/RFA・・・肝悪性腫瘍ラジオ波焼灼療法

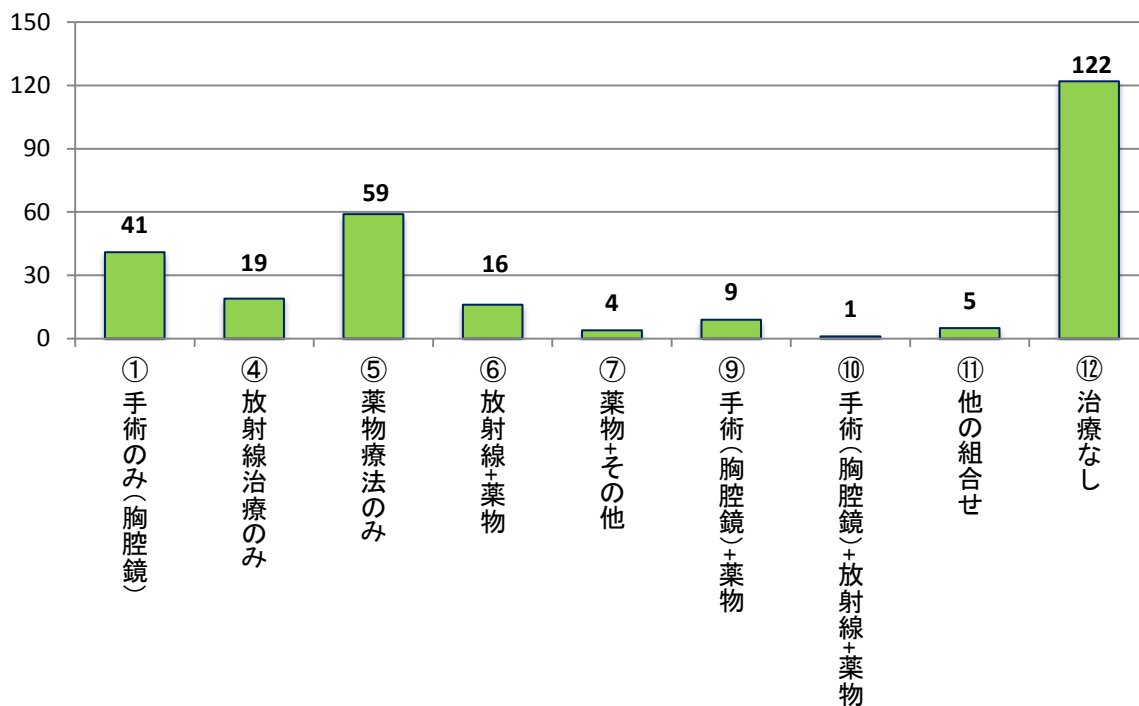
肝がん治療内容(2016年診断症例)



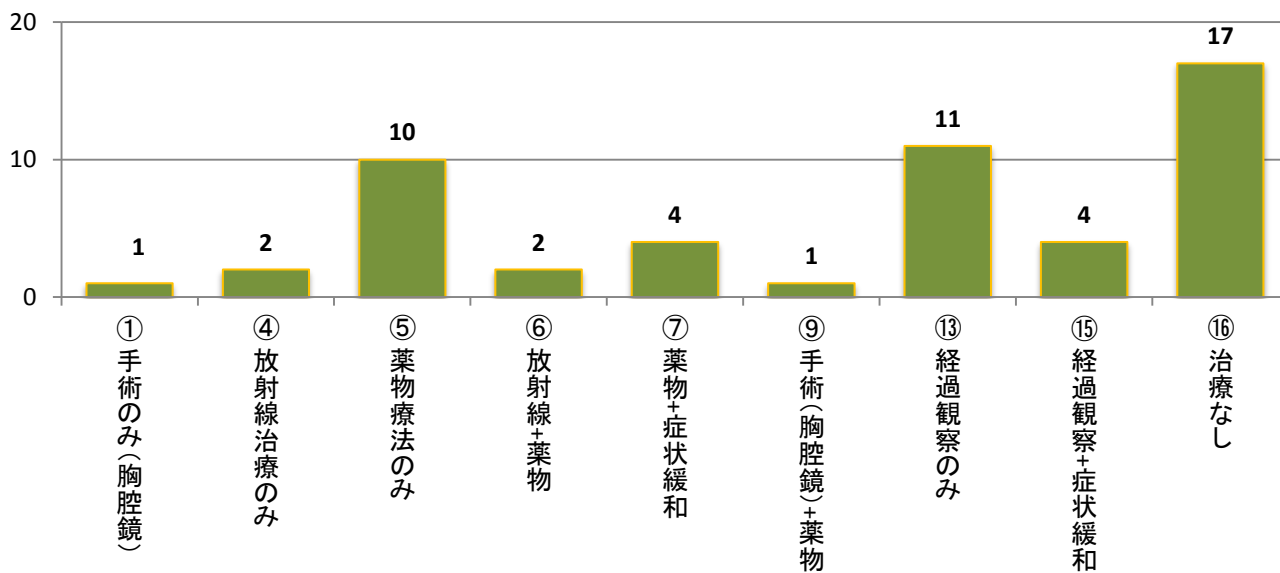
※ TA(C)E・・・肝動脈(化学)塞栓療法/RFA・・・肝悪性腫瘍ラジオ波焼灼療法

→ 2016年診断症例から「その他の治療」となりました

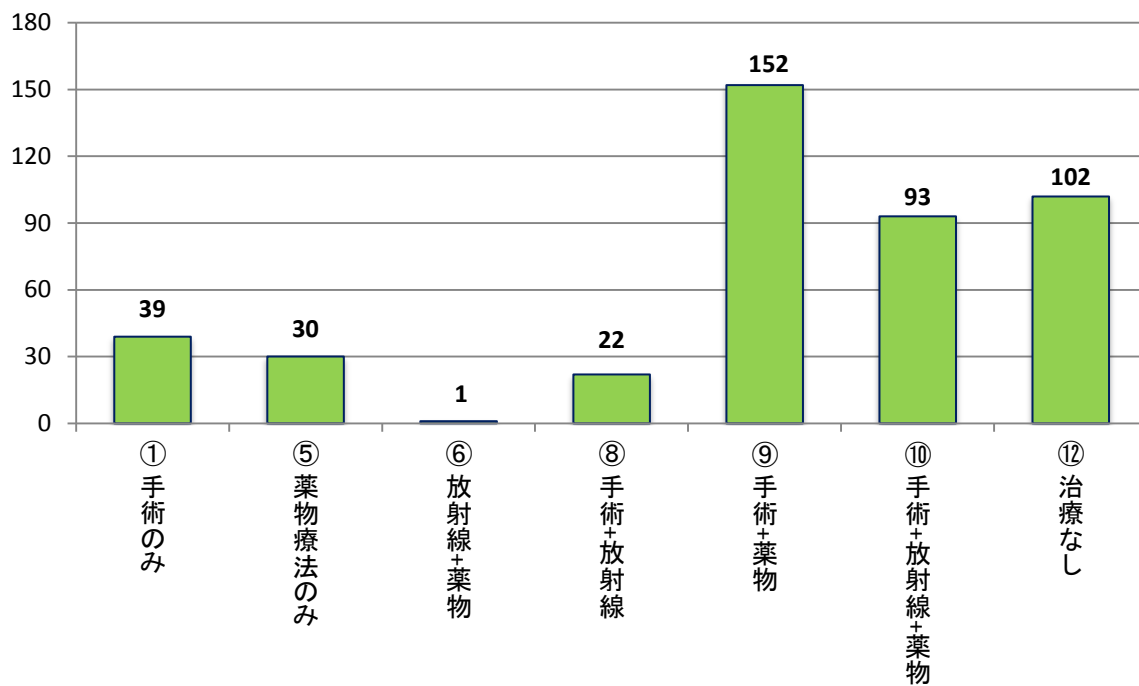
肺がん治療内容(2011~2015年診断症例)



肺がん治療内容(2016年診断症例)



乳がん治療内容(2011～2015年診断症例)



乳がん治療内容(2016年診断症例)

